

●優良賞（農林水産省農村振興局長表彰）

げいひんかん
ひばのくに迎賓館

おおわにまち
（青森県 大鰐町）

ひばのくに定食

◇活動の経緯、内容

ひばのくに迎賓館は、この地域のひばと杉を活用した木工品の製作と展示販売を行う施設「わにもっこ」の休憩・宿泊施設として平成元年に建設された。総ひば造りの建物で農家レストランと宿泊施設が併設されている。レストランでは、付近で採れた山菜や自家菜園の野菜を用い、地域の食文化を継承したメニューが提供される。宿泊施設は3室・20人が定員で、農林業体験民宿として登録されている。その他、年間を通じて様々な体験イベントが行われ、木工に携わる作家や地元住民、来訪客らの交流の場を提供している。



開業当初、資金不足を補うため「ひばのくに国民」と称する会員制度を発足、東京や海外も含め400人あまりの会員を有する。それに加え、木工を介した工芸作家、音楽家など、多業種にまたがる幅広い人的ネットワークを持ち、イベント等を通じて地域と外部の世界とをつなぐ役割をも果たしている。

地元のことを飾らずに提供していることが、利用者にとって癒しの場となり、リピーター獲得につながっている一方で、地元の食材や文化を通じた地元住民とのつながりも強いものになっている。

地域資源を活用した地域活性化に大きく貢献している取り組みといえる。

◇代表作品の紹介

ひばのくに定食：

川魚と山菜を中心とした料理は、地域の伝統的なものではあるが、もはや一般的ではない。それをレストランで提供することが文化の伝承と考え、地域の高齢者などから教わりつつメニューを考案している。イワナは隣接集落で養殖されているもの、山菜は早朝から山で採取し、野菜類は施設裏の畑で栽培している。味噌も自家製であり、これら納得いく食材でここでしかできない味を作りだしている。

